

初めて行った矢切の渡し

石鍋 綾香

私は、生まれて初めて矢切の渡しに行きました。矢切の渡しへ行くとまごの電車の景色は松戸に入ってから田んぼや、畑などがたくさんありとても田舎にきた感じがしました。また東京都から千葉県に行く電車がひと駅行ただけなのにこんなにも景色が変わるようになってとてもおどろきました。そして千葉県と東京都の環境や地域の差がとてもすごいことを

しり勉強になりました。電車の中から見た景色は田や畑などがとてもいい緑色をしていますが。矢切の渡しについたときには森林に囲まれたと思うぐらい木に囲まれています。その木にはせみもたくさんついていて大きな声で鳴いていました。外はとても暑く、夏だなと改めて感じるぐらいでした。そして矢切の渡しに乗りました。矢切の渡しの舟に乗った人数は私たちをふくめて五人しかいませんでした。自分たち以外にだれも乗らないと

きには自分の自転車なども乗せてくれるらしいです。舟はゆっくりと進み乗ってる時間はだいたい五分ぐらいでした。舟には一人船頭さんがあり、安全運転でこいでくれました。

矢切の渡しは都内やいつの木の渡し舟であり江戸川を渡たる舟です。千葉県の松戸から乗り東京の柴又につきます。江戸川の向こうには大きな取水塔がありました。また水面にはあめんぼがいてびよんびよんと飛んでいました。矢切の渡しは小さな舟でけい三十一人も

の人がい、きに乗ることか出来ます。そして三十一人乗ったときにも対応できるように三十一個十船頭さんボートのうき袋がありました。災害難時のときにしつかりそなえてあるのかとても良いと思いました。そして船頭さんが「はい」と大きな声でみんなに知らせ、みんな「はい、まにかりていきました。千葉県の景色はとってもきれいであんなにいい、くりとめたことがありませんでした。だから今日見れて良かったです。今回の旅は大成功に終わりました。」